

2018年3月23日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社
東北工事事務所

山田線織笠駅・浪板海岸駅・鶉住居駅 駅舎の復旧工事について

東日本旅客鉄道株式会社では2018年度内の開業をめざして、山田線宮古～釜石駅間の復旧工事を行っております。このたび、被災した織笠駅、浪板海岸駅、鶉住居駅の駅舎について、各地域の特色を踏まえたデザインにより復旧工事を行います。

1 駅舎概要

(1) 織笠駅

所在地：岩手県下閉伊郡山田町織笠

構造・面積：鉄骨造平屋建て 約10㎡

特徴：山田湾に浮かぶオランダ島をモチーフとした屋根の形状と海の透明感をイメージしたデザイン



【完成イメージ図】



【平面図】



【立面図】

(2) 浪板海岸駅

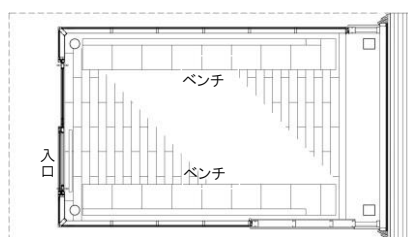
所在地：岩手県上閉伊郡大槌町浪板

構造・面積：鉄骨造平屋建て 約17㎡

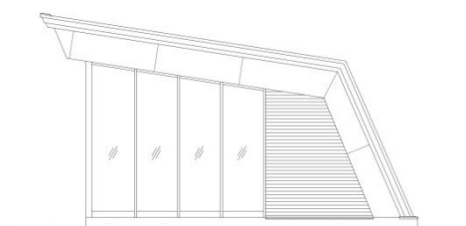
特徴：波頭をモチーフとした屋根の形状と、海への眺望に配慮したデザイン



【完成イメージ図】



【平面図】



【立面図】

(3) 鵜住居駅

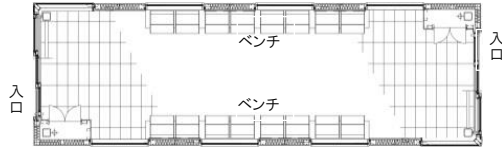
所在地：岩手県釜石市鵜住居町

構造・面積：鉄骨造平屋建て 約 21 m²

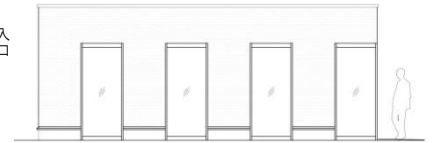
特徴：ラグビーのスクラムをモチーフとした千鳥配置の開口部と海の砂浜をイメージしたデザイン



【完成イメージ図】



【平面図】



【立面図】

2 他の被災駅舎の状況

- 磯鶏駅、津軽石駅は駅舎の修繕等を行います。
- 陸中山田駅と大槌駅は地元自治体にて駅舎を新設いたします。

【駅舎復旧工事スケジュール(予定)】

駅名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
磯 鶏			■					
津 軽 石		■						
織 笠		■						
浪板海岸			■					
鵜 住 居			■					